串間の魅力
再発見 67

くしまをあそぼう。

◎国道448号ドライブ

昨年12月に開通した名谷トンネル

昨年3月の小崎バイパス開通に続き、12月の名谷バイパス開通により、通行しやすく生まれ変わった国道448号。今回はこの国道448号を日南市（旧南郷町）側からドライブしてみました。

まずは日南市側から南下、市木地区・夫婦浦に入ります（写真①）。この辺りは、ダイビングスポットとしても知られる美しい海が広がります。舳地区対岸に浮かぶ築島を左手に見ながら車を走らせると、石波海岸の美しい砂浜と国の天然記念物に指定されている「石波の海岸樹林」「幸島猿生息地（写真②）」が見えてきました。

さらに南下。車は海沿いを少々離れ都井地区・名谷へ入ります。瀧山神社の鳥居を過ぎるとすぐに、昨年12月に開通した名谷バイパス・名谷トンネル（詳細は11ページをご覧ください）です。真新しいトンネルを抜けるとそこは大納地区。ここに広がる恋ケ浦海岸（写真③）は全国でも有数のサーフスポットです。波乗りを楽しむサーファーの姿が季節を問わず見られます。

車は昨年3月開通の小崎バイパス・恋ケ浦トンネルを抜け宮之浦地区を過ぎると、国道448号から県道36号に寄り道、都井岬へ向かいました。

駒止めの門を過ぎると小松ケ丘でのんびりと草をはむ御崎馬の姿が（写真④）。ここでは車を降りて丘に登り、雄大な景色を堪能しました。

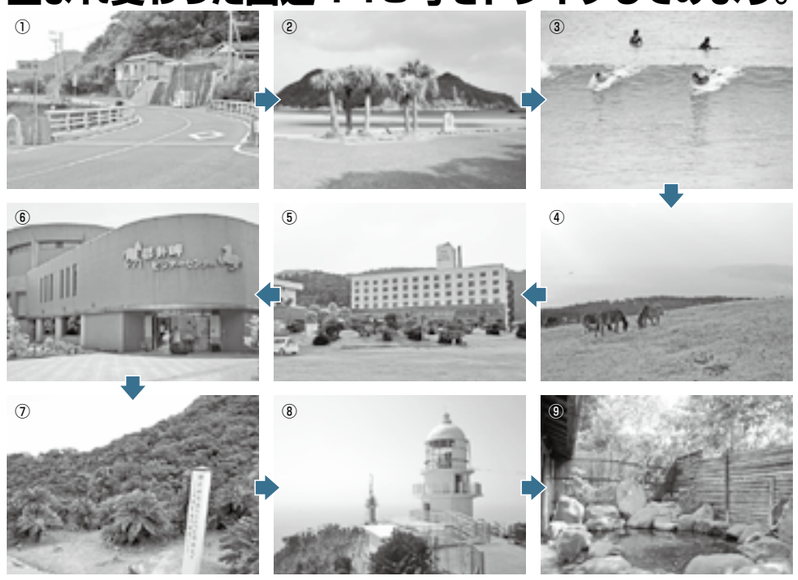
そろそろお昼。都井岬観光ホテル（写真⑤）で昼食をとることもできます。また、天気のいい日は、手作りお弁当を野外で食べるのも気持ちいいでしょう。

食事の後は都井岬ビジターセンター（写真⑥）で御崎馬の生態を勉強したり、ソテツ自生地の北限として国の特別天然記念物に指定されている「都井岬ソテツ自生地」（写真⑦）を鑑賞したり、都井岬灯台（写真⑧）から大海原を眺めたりするのもいいでしょう。

車は再び国道448号へ戻り本城地区へ。ドライブの最後は串間温泉いこいの里の温泉（写真⑨）につかって一日の疲れをいやします。もちろん、ここで食事をとるのもいいでしょう。

今回は駆け足での紹介でしたが、友だち同士や家族で一日楽しむことができる「国道448号ドライブ」。みなさんもぜひ試してみてください。

生まれ変わった国道448号をドライブしてみよう。



国道448号名谷バイパスが開通しました。

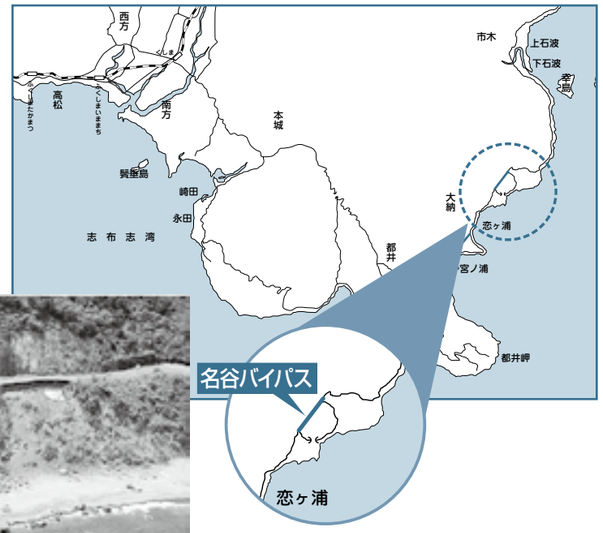
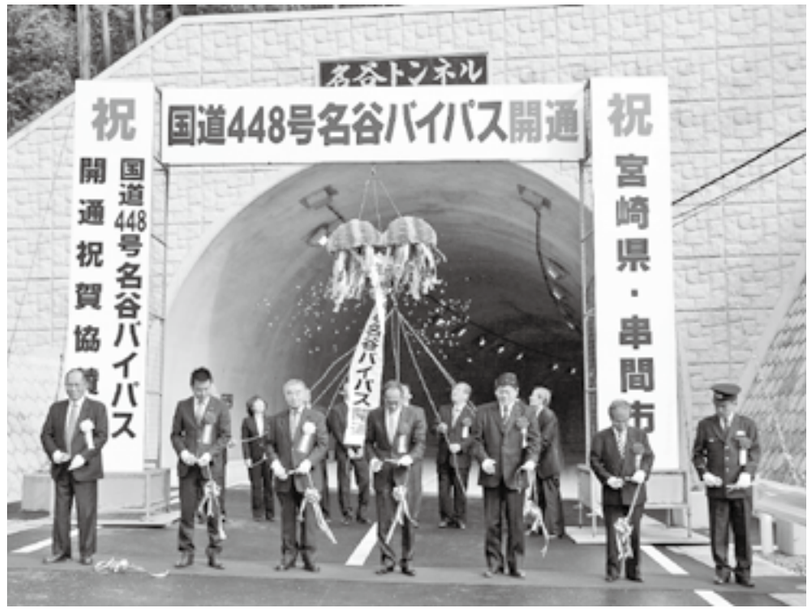
■災害に強い安全・安心な道路となりました。

12月24日、都井地区・大納～名谷間の国道448号で整備が進められていた「名谷バイパス」が開通しました。

今回バイパスが整備された区間は、これまで道路の幅員が狭く一般車両の離合はもとより大型車の通行にも支障をきたしていました。また、名谷隧道の老朽化も著しく、連続雨量170ミリでの通行規制区間でもあるため、名谷地区が孤立する恐れのある不安な状態でもありました。そこで地滑り地帯を避けたルートでのバイパスを新設。平成16年度より事業が進められ、名谷トンネルを主体とする延長約1、100メートルの「名谷バイパス」（工事費約22億円）が完成しました。

この日行われた開通式には東国原知事も出席。「生活、観光、医療などに重要な道路を整備することができ安心しています。今後も県内のインフラ整備の必要性を国に対して積極的に働きかけます」と祝辞を述べ、開通を祝いました。

昨年3月24日には「小崎バイパス」が開通。今回名谷バイパスが開通したことにより災害に強い安全・安心な道路として、また地域の経済や産業の振興に寄与するものと今後大きく期待されます。



名谷隧道付近（名谷側）の被災状況。